

検診機関の状況について

R7.11.20

長野県健康福祉部 疾病・感染症対策課

内容

県内の主要な検診機関の状況（令和４年度）

令和６年度長野県がん検診実施状況調査（令和４年度に実施したがん検診の調査）より

- （１） チェックリストについて
- （２） プロセス指標について

(1) チェックリストについて

検診機関のチェックリスト実施率について

- ◆ 県内の主要な検診機関※のチェックリスト実施率は概ね高く、精度管理されている状況。

※県内市町村の多くの委託先（主には集団検診）である長野県健康づくり事業団、JA長野厚生連、中部公衆医学研究所を指す。

胃がん (X線)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
92.3%	97.6%	81.9%	97.6%	100%

令和6年度がん検診実施状況調査（令和4年度に実施したがん検診の調査）より

- ◆ ただし、1つ1つの項目を見ると、改善点あり。

➡ **さらなる検診精度の向上を目指したい。**

検診機関チェックリストから読み取れる課題

参考資料 4

◆ 複数の検診機関で実施できていない課題（課題の一部のみ抜粋）

① 胃がん（エックス線）検診 胃部エックス線読影の精度管理【チェックリスト項目3－2】

「胃エックス線読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医とする」体制ができていない。

② 大腸がん検診 システムとしての精度管理【チェックリスト項目4－1】

受診者への結果の通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検体回収後2週間以内に行えていない。

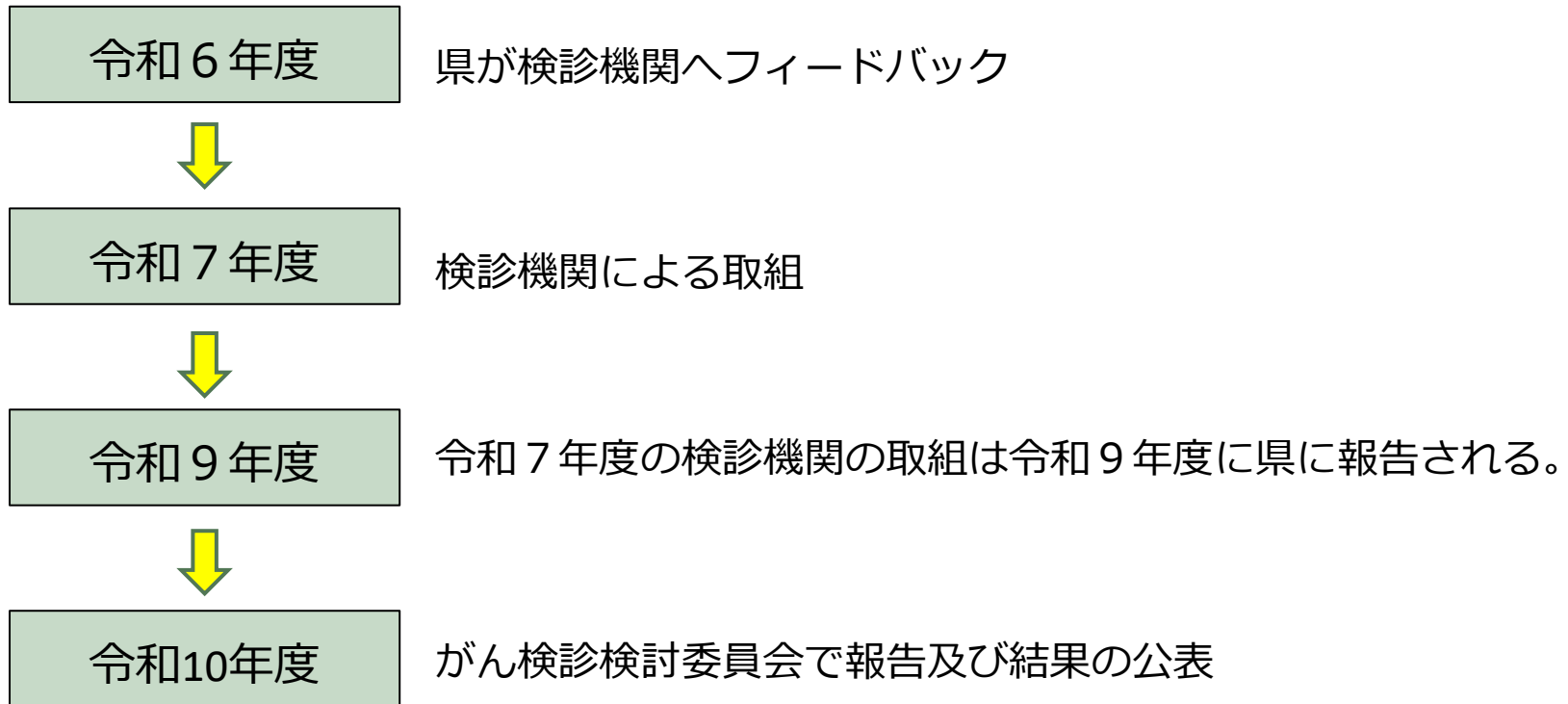
③ 肺がん検診 胸部エックス線読影の精度管理【チェックリスト項目3－1】

「読影は二重読影を行い、読影に従事する医師は下記の要件を満たしていますか。」ができていない。

※読影医の要件

- ・ 第一読影医：検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会注3」に年1回以上参加している
- ・ 第二読影医：下記の1)、2)のいずれかを満たすこと
 - 1) 3年間以上の肺がん検診読影経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会注3」に1回以上参加している
 - 2) 5年間以上の呼吸器内科医、呼吸器外科医、放射線科医のいずれかとしての経験があり、かつ検診機関などで開催される「肺がん検診に関する症例検討会や読影講習会注3」に年1回以上参加している

取組が成果として表れる時期（例）



課題への取組経過

県



検診機関

- ◆ 検診機関と基準に達していない理由を考え、一緒に解決策を検討していく。


(2) プロセス指標について

検診機関 要精検率

対象：住民検診及び職域検診

	要精検率	基準値
胃がん（X線）	6.6%	7.1%以下 (検診間隔1年：7.0%以下)
大腸がん	5.4%	6.2%以下
肺がん（X線）	2.7%	2.0%以下 (検診以外の肺に関する検査の受診考慮：2.0%以下)
乳がん	4.8%	6.8%以下 (連続受診がいることを考慮：6.8%以下)
子宮頸がん	2.2%	2.7%以下 (※CIN3以上)

令和6年度がん検診実施状況調査（令和4年度に実施したがん検診の調査）より


 国の基準値に達していない指標

検診機関 精検受診率

対象：住民検診及び職域検診

	精検受診率	基準値
胃がん（X線）	76.0%	90%以上
大腸がん	63.8%	
肺がん（X線）	75.5%	
乳がん	92.4%	
子宮頸がん	73.4%	

令和6年度がん検診実施状況調査（令和4年度に実施したがん検診の調査）より


 国の基準値に達していない指標

検診機関 がん発見率

対象：住民検診及び職域検診

	がん発見率	基準値
胃がん（X線）	0.11%	0.13%以上 (検診間隔1年：0.08%以上)
大腸がん	0.13%	0.16%以上
肺がん（X線）	0.06%	0.06%以上 (検診以外の肺に関する検査の受診考慮：0.03%以上)
乳がん	0.24%	0.38%以上 (連続受診がいることを考慮：0.29%以上)
子宮頸がん	0.03%	0.16%以上 (※CIN3以上)

令和6年度がん検診実施状況調査（令和4年度に実施したがん検診の調査）より


 国の基準値に達していない指標

検診機関 陽性反応適中度

対象：住民検診及び職域検診

	陽性反応適中度	基準値
胃がん（X線）	1.67%	1.9%以上 (検診間隔1年：1.1%以上)
大腸がん	2.45%	2.6%以上
肺がん（X線）	2.1%	3.0%以上 (検診以外の肺に関する検査の受診考慮：1.6%以上)
乳がん	5.0%	5.5%以上 (連続受診がいることを考慮：4.3%以上)
子宮頸がん	1.2%	5.9%以上 (※CIN3以上)

令和6年度がん検診実施状況調査（令和4年度に実施したがん検診の調査）より

 国の基準値に達していない指標

課題

要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度が
国の基準値よりも低い項目がある

- ◆ 要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度が
国の基準値よりも低い項目がある。

精検未受診率と未把握率

- ◆ 精検受診率が低いと、がん発見率、陽性反応的中度の評価を正確に行うことができない。
- ◆ 精検未受診率と未把握率は0%に近ければ近いほど良い。
- ◆ 肺がんは未受診率が、胃がん、大腸がん、子宮頸がんは未把握率が高い。

	胃がん (X線)	大腸がん	肺がん (X線)	乳がん	子宮頸 がん
未受診率 (県)	0.3%	5.3%	15.8%	0.4%	0.9%
未把握率 (県)	23.7%	30.8%	8.7%	7.1%	25.7%

課題への取組経過

要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度が
国の基準値よりも低い項目がある

県



検診機関

- ◆ 検診機関と基準に達していない理由を考え、一緒に解決策を検討していく。